

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587008101	科目番号 / Subject code	05870081
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11911_005		
授業科目名 / Subject	くすり～過去・現在・未来～ (伝承薬から最先端医薬品まで(薬はこうして創られる)) / From Folk Medicines to Advanced Medicines		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun, 川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	薬学部3階 薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2427		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-木 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Goal	<p>人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 代表的な抗生物質をあげ、その作用と供給方法を説明できる。 2) 代表的な抗ウイルス剤をあげ、その作用と供給方法を説明できる。 3) 代表的なビタミン剤をあげ、その作用と供給方法を説明できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	医薬品をテーマにして化学の視点から調査研究を行う。各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画についてディスカッションし、その検討結果を発表する。各グループ別に、報告をパワーポイントを用いた発表形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポートを作成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	抗生物質、抗ウイルス剤、抗がん剤、ビタミン、その他の身の回りにある医薬品について、PBL方式で自ら学ぶ。 第1?5回、第6?10回、第11?15回の3期に分け、各々異なるテーマについて調査研究を行う。 なお、第16回目にレポートを提出および総括を行う予定。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習復習課題として、LACS上でコメントや回答を求める。		
キーワード/Key word	医薬品、化学合成、天然物		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に適宜指定する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業外の時間に週2時間以上、調査、情報整理、レポート作成などのために充てること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に課題に取り組み、グループ内でのコミュニケーションをとること。調査し予備知識をつけてから授業に臨み、自分の意見を述べるができるようになること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	テーマの提示とグループ分け(1)		
第2回	グループ内での調査(1)		
第3回	進捗状況の報告と意見交換(1)		

第4回	グループ内での調査（1）
第5回	グループプレゼンテーション、全体討論（1）
第6回	テーマの提示とグループ分け（2）
第7回	グループ内での調査（2）
第8回	進捗状況の報告と意見交換（2）
第9回	グループ内での調査（2）
第10回	グループプレゼンテーション、全体討論（2）
第11回	テーマの提示とグループ分け（3）
第12回	グループ内での調査（3）
第13回	進捗状況の報告と意見交換（3）
第14回	グループ内での調査（1）
第15回	グループプレゼンテーション、全体討論（3）
第16回	報告レポート提出、総括

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587010101	科目番号 / Subject code	05870101
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11961_005		
授業科目名 / Subject	くすり～過去・現在・未来～ (疾病の回復を促進する薬) / Fundamental Pharmacology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	尾野村 治 / Onomura Osamu, 川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	尾野村 治 / Onomura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	尾野村 治 / Onomura Osamu, 川上 茂 / Kawakami Shigeru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onomura nagasaki-u.ac.jp (尾野村), skawakam 以下同じ (川上) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	薬学部3階医薬品合成化学研究室(尾野村), 同5階医薬品情報学研究室(川上)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2429 (尾野村)、095-819-8563 (川上)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日9:00-17:00 電話で予約をいれること		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この講義では、薬物の働く仕組みだけでなく、薬物が医療の中でどのような役割を担っているか、また薬物とその有効な作用を発揮できるように医師・看護師・薬剤師などがどのように働いているかを学ぶ。		
授業到達目標/Goal	薬物の働く仕組みを概説できる。 薬物が医療の中で果たしている役割を概説できる。 薬物治療医師・看護師・薬剤師の役割を概説できる。 グループ内での役割(司会、書記、発表、質疑)を積極的に担うことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	放送大学を聴講後、小グループ討論、全体発表・質疑応答。 グループ内での役割(司会者、書記、発表者、質問者)は毎回交代する。次回分は前回に役割を決めておく。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小グループ討論を充実したものにすため、テキストを予習しておくこと。 放送大学の最終試験に合格できるよう、テキストをしっかりと復習すること。		
キーワード/Key word	薬の役割、薬の作用、薬の使用		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	疾病の回復を促進する薬(放送大学教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み(60%)、通信指導問題及び最終試験の結果(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	前半を尾野村が、後半を川上が担当します。 テキストを十分に予習して授業に臨むこと		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	学習の進め方(講師全員)		
第2回	薬理学総論(1)(片野 由美)		
第3回	薬理学総論(2)(片野 由美)		
第4回	神経に作用する薬: その基本機序について(中山 貢一)		
第5回	末梢神経に作用する薬(喘息治療薬を含む)(中山 貢一)		
第6回	中枢神経に作用する薬(中山 貢一)		
第7回	循環器系に作用する薬(片野 由美)		
第8回	血液に作用する薬(中山 貢一) 通信指導問題(中間テスト)配布		

第9回	内分泌系に作用する薬(1)(中山 貢一) 通信指導問題(中間テスト)回収
第10回	内分泌系に作用する薬(2)(中山 貢一)
第11回	抗炎症薬と化学療法(中山 貢一)
第12回	消毒薬と外用薬(川原 礼子)
第13回	薬物中毒と救急医療(仙波 純一)
第14回	薬の安全な使用と薬剤師(1)?副作用の回避(村井 ユリ子)
第15回	薬の安全な使用と薬剤師(2)?薬がかかわる医療事故の回避(村井 ユリ子)
第16回	最終試験(放送大学が実施する試験を受験のこと) 2016年 日時未定 放送大学長崎学習センター

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587056701	科目番号 / Subject code	05870567
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	くすり～過去・現在・未来～ (高齢化社会と地域医療・薬とのかかわり) / Aging Society and Its Association of Community - Based Medical Care and Medicine		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川上 茂 / Kawakami Shigeru, 萩森 政頼 / Hagimori Masayori, 中山 守雄 / Nakayama Morio		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川上 茂 / Kawakami Shigeru, 萩森 政頼 / Hagimori Masayori, 中山 守雄 / Nakayama Morio		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skawakam nagasaki-u.ac.jp(川上)、morio nagasaki-u.ac.jp(中山)、hagimori nagasaki- u.ac.jp(萩森)(メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8563(川上)、095-819-2441(中山)、萩森(095-919-8564)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎県は高齢化社会の先進地区であり、高齢化が進む日本の将来の医療を考える上で重要なモデル である。ここでは、出島に近代西洋科学が導入されたくすりの歴史から、現在における高齢化社会 の典型的な疾病とくすりの使われ方まで、医療経済を交えながら学び、長崎県を起点として高齢化 社会におけるくすりの付き合い方について議論していく。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会における医療の変化を理解する。 ・高齢化社会におけるくすりの使い方を理解する。 ・高齢者の認知症について理解する ・長崎県の高齢者化社会での問題点を整理し、課題を発表できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、グループワーク、プレゼンテーション、討 論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容/Class outline/Con	1. 薬の過去 出島の科学、2. 高齢化社会とくすり、3. 認知症と社会、の3つのパートで授業を 行なう。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	くすり、高齢者、医療、医療経済、長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし・必要に応じて資料を配付する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	積極的授業参加態度(35%)、レポート(35%)、グループ活動の成果と発表(30%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	調査等のため授業学習時間は不可欠で、授業時間だけでは、十分な学習を行うことは困難です。 LACSや、個人のPCを活用した自主的な時間外学習は、週平均2時間以上は必要です。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指 す分野における関係性について考えてみてください。また、グループディスカッションとプレゼン テーションは、皆さんの総合力を磨く絶好のチャンスです。どんなことでもいので、積極的に発 言する姿勢で臨んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
4月6日	第1回: イントロ 講義概要・評価の説明、グループ分け、自己紹介(川上)		
4月6日	第2回: くすりの過去 出島の科学1 グループ単位での相互討論による研究テーマの決定、役割分担 、研究方法を議論(その日決定した内容をまとめ、個人単位でLACS上に報告)(長崎県の課題を通 して学修)(川上)		
4月13日	第3回: くすりの過去 出島の科学2 グループ単位での研究調査活動(教室に集まって、調査研究状 況の報告と討論。この週の活動内容もLACS上で報告)(長崎県の課題を通して学修)(川上)		

4月13日	第4回：くすりの過去 出島の科学 3 グループ単位での最終発表（興味を持った理由、業績、長崎における足跡、自分達との繋がり）、質疑応答、個人レポートの説明（長崎県の課題を通して学修）（川上）
4月20日	第5回：高齢化社会における医療経済と長崎県 1 個人単位での高齢化社会とくすりに関する調査研究テーマの提案、グループ分け（その日調査した内容をまとめ、個人単位でLACS上に報告）（長崎県の課題を通して学修）（萩森）
4月20日	第6回：高齢化社会における医療経済と長崎県 2 グループ単位での相互討論による研究テーマの決定、役割分担、研究方法を議論（その日決定した内容をまとめ、グループの代表者がLACS上に報告）（長崎県の課題を通して学修）（萩森）
4月27日	第7回：高齢化社会における医療経済と長崎県 3 グループ単位での研究調査活動とプレゼンテーション準備（教室に集まって、調査研究状況の報告と討論を行い最終発表に向けての準備を行う。この週の活動内容もLACS上で報告）（長崎県の課題を通して学修）（萩森）
4月27日	第8回：高齢化社会における医療経済と長崎県 4 グループ単位での最終発表（研究テーマを選んだ理由・調査方法・結果・解析と考察・結論） 質疑応答、個人レポートの説明（長崎県の課題を通して学修）（萩森）
5月11日	第9回 個人単位での認知症に関する調査研究テーマの提案とグループ分け（中山）
5月11日	第10回 グループ単位での相互討論による研究テーマの決定、役割分担、研究方法を議論（その日決定した内容をまとめ、個人単位でLACS上に報告）（中山）
5月18日	第11回 研究調査活動（図書館等でグループ活動。この週の活動内容は代表者がLACS上で報告）（中山）
5月18日	第12回 研究調査活動（教室に集まって、調査研究状況の報告と討論。この週の活動内容もLACS上で報告）（中山）
5月25日	第13回：研究調査活動（この日も教室に集まって、調査研究状況の報告と討論。この週の活動内容もLACS上で報告）（中山）
5月25日	第14回：調査活動を修了し、プレゼンテーション準備・グループレポート素稿の作成（中山）
6月1日	第15回：最終発表（目的・方法・結果・解析と考察・結論） 質疑応答、個人レポートの説明（中山）